



News 1

平成28年度、リフォーム・リニューアル市場は好調に推移 住宅に係る工事は前年度比 37.6%の大幅増

平成 29 年 6 月 30 日、国土交通省が建築物リフォーム・リ

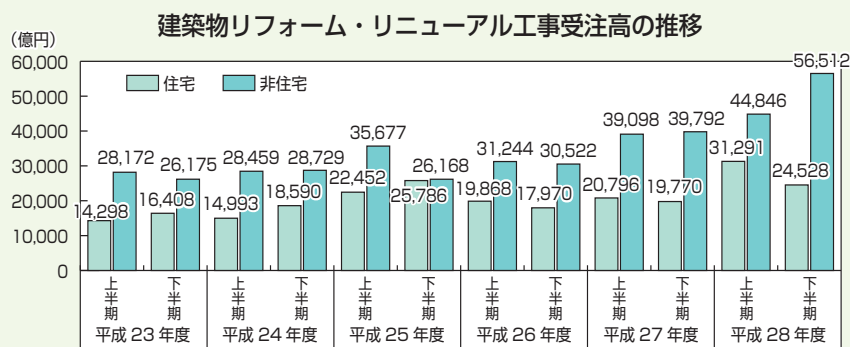
ニューアル調査報告（平成 28 年度下半期受注分、平成 28 年度計）を公表した。

これによると、平成 28 年度の建築物リフォーム・リニューアル工事の受注高は前年度比 31.6%増の 15 兆 7,177 億円となり、大幅に増加している。

このうち住宅に係る工事は同 37.6%増の 5 兆 5,819 億円。建築物全体よりも高い伸び率を示している。

住宅の受注高のうち、戸建住宅は 85.3%増の 2 兆 9,112 億円、共同住宅は同 5.6%増の 2 兆 4,413 億円となっており、戸建住宅の伸び率の方が高い。

工事種類別では、増築工事が 1,517 億円、一部改築工事が



が 1,641 億円、改装・改修工事が 4 兆円 5,462 億円、維持・修理工事が 7,199 億円となっており、改装・改修工事の受注高が最も多い。

住宅の業種・業種規模別の受注高は、建築工事業が 2 兆 9,315 億円で最も多く、次いで電気、機械器具設置工事業の 1 兆 3,779 億円が続いている。

News 2

平成29年度の建設投資見通し、民間住宅は15兆9,500億円 住宅のリフォーム・リニューアルは5兆8,100億円

国土交通省は平成 29 年 6 月 30 日に「平成 29 年度 建設投資見通し」を明らかにした。

平成 29 年度の建設投資見通しは、前年度比 4.7%増の 54 兆 9,600 億円。このうち政府投資が 22 兆 2,300 億円（同 5.4%増）、民間投資が 32 兆 7,300 億円（同 4.3%増）と見通している。

住宅投資の見通しは同 1.9%増の 16 兆 7,300 億円で、このうち民間分の投資額が同 1.7%増の 15 兆 9,500 億円を占めている。

一方、リフォーム・リニューアル投資額は、同 5.1%増の 16 兆 700 億円程度となる見込み。このうち住宅が 5 兆 8,100 億円で、全体の 36.2%を占める。

建築物リフォーム・リニューアル投資額に、建設投資見通しの「建築」の投資額を加えた合計額（重複計上分を除く）は、45 兆 4,800 億円程度となっている。このうちリフォーム・リニューアル投資額の占める割合は住宅で 25.9%。非住宅で 44.4%という状況だ。非住宅の方が建設投資額に占めるリフォーム・リニューアル投資額の割合が大きくなっている。

注目のニュース

- 国土交通省 建設産業の人材育成に向けて報告書をとりまとめ 10 年後を見据えて各種の制度インフラの再構築へ
- 国土交通省 平成 29 年度空き家所有者情報提供による空き家利活用推進事業で 7 市の取組を採択 二次募集も開始
- 元旦ビューティ工業(株) 屋根と一体化できる金属内樋を開発 落葉除けカバーを搭載しメンテナンスを簡素化 リフォームにも対応
- 日本ペイントホールディングス(株) 最上位クラスの住宅塗り替え水性塗料を発売 下地の微細なひび割れにも
- (株)LIXIL 戸建て住宅用リフォームシャッターを一新 取り付け時間を従来の 3 分の 1 に短縮 最短 60 分のスピード施工を実現対応

リフォーム評価ナビからのお知らせ

「この会社をもっと知りたいページ」(PRページ)をご利用されていますか？ PRページはアピールポイントを自由に掲載できるオプションの拡張ページです。ご利用されている事業者様の方が反響も多い傾向があります。今なら初年度0円キャンペーンを実施中！お申込みは事業者管理サイトから。